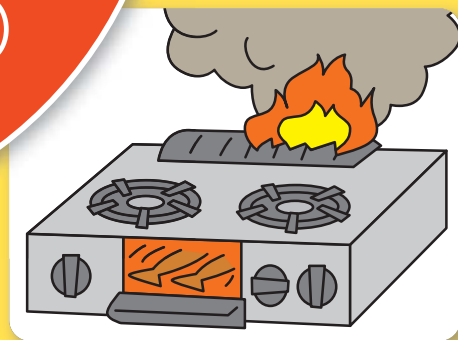
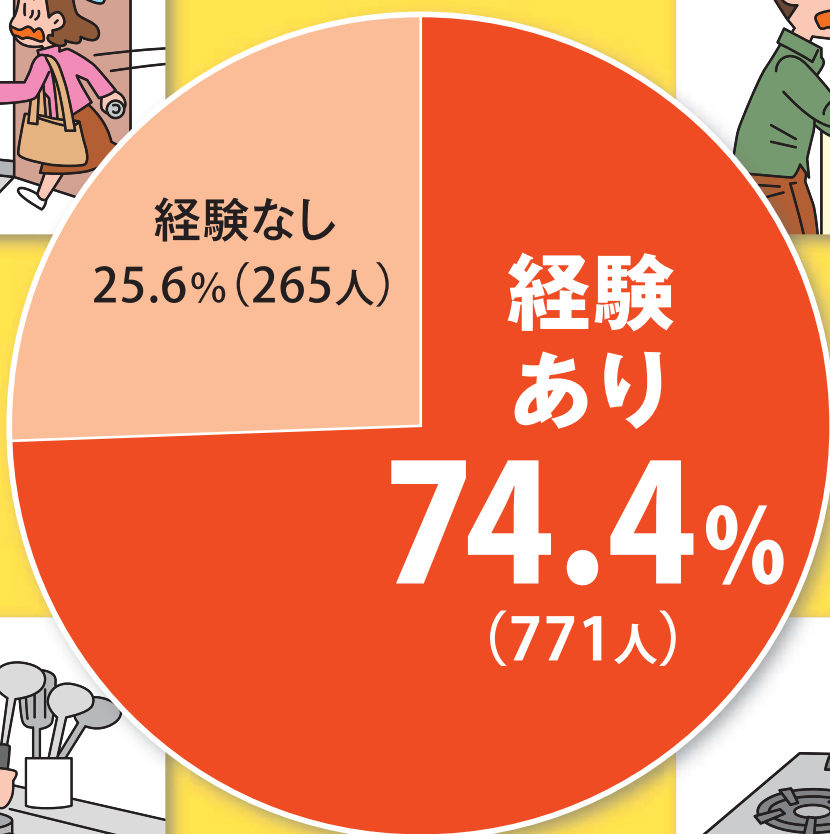


4人中3人が 危ない使い方の経験あり!



ガスコンロの危険な使用方法の有無
回答者数 1,036人

出典：東京都生活文化局「ガスコンロの安全な使用に関する調査」より

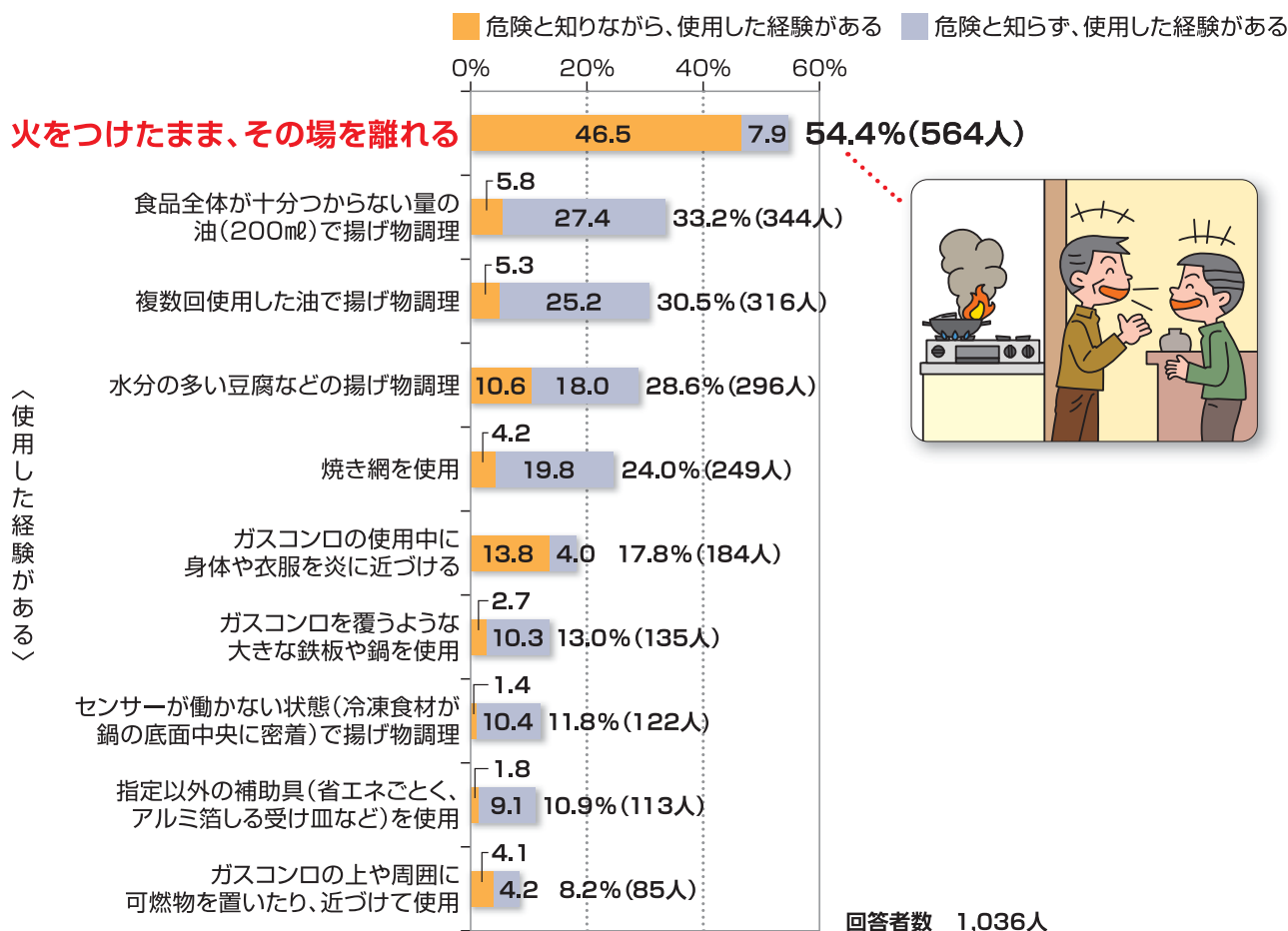
ガスコンロの使い方、自分だけは大丈夫と思っていないですか？



ガスコンロを原因とした火災は減少傾向にありますが、住宅火災の出火原因としては依然としてもっとも多く発生しています。調査によると、ガスコンロ使用者の74.4%の方が、事故につながる恐れのある危ない使い方の経験がありました。そこでこの冊子では、ガスコンロの使い方に関するデータやヒヤリ事例をご紹介します。

① ガスコンロを使用中、その場を離れた人は？

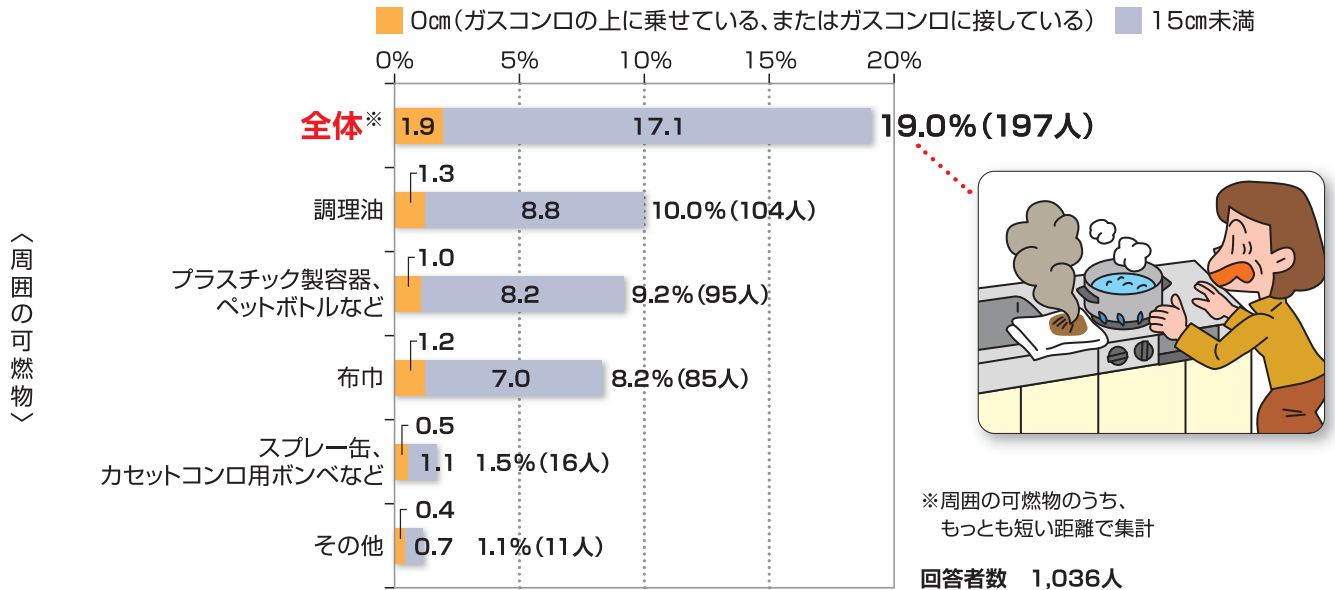
下のグラフのように多くの方が「危険な使用方法」による使用経験がありました。その中でも、火をつけたままその場を離れたことのある人は全体の54.4%と半数を超え、多くの方はつい大丈夫だろうと思いコンロから離れていました。



② ガスコンロの近くに燃えやすいものを置いた人は？

ガスコンロ使用者の約2割は、ガスコンロと周囲の可燃物までの距離が、火災予防上安全な距離とされる離隔距離※15cm(上方は100cm)を満たしていませんでした。

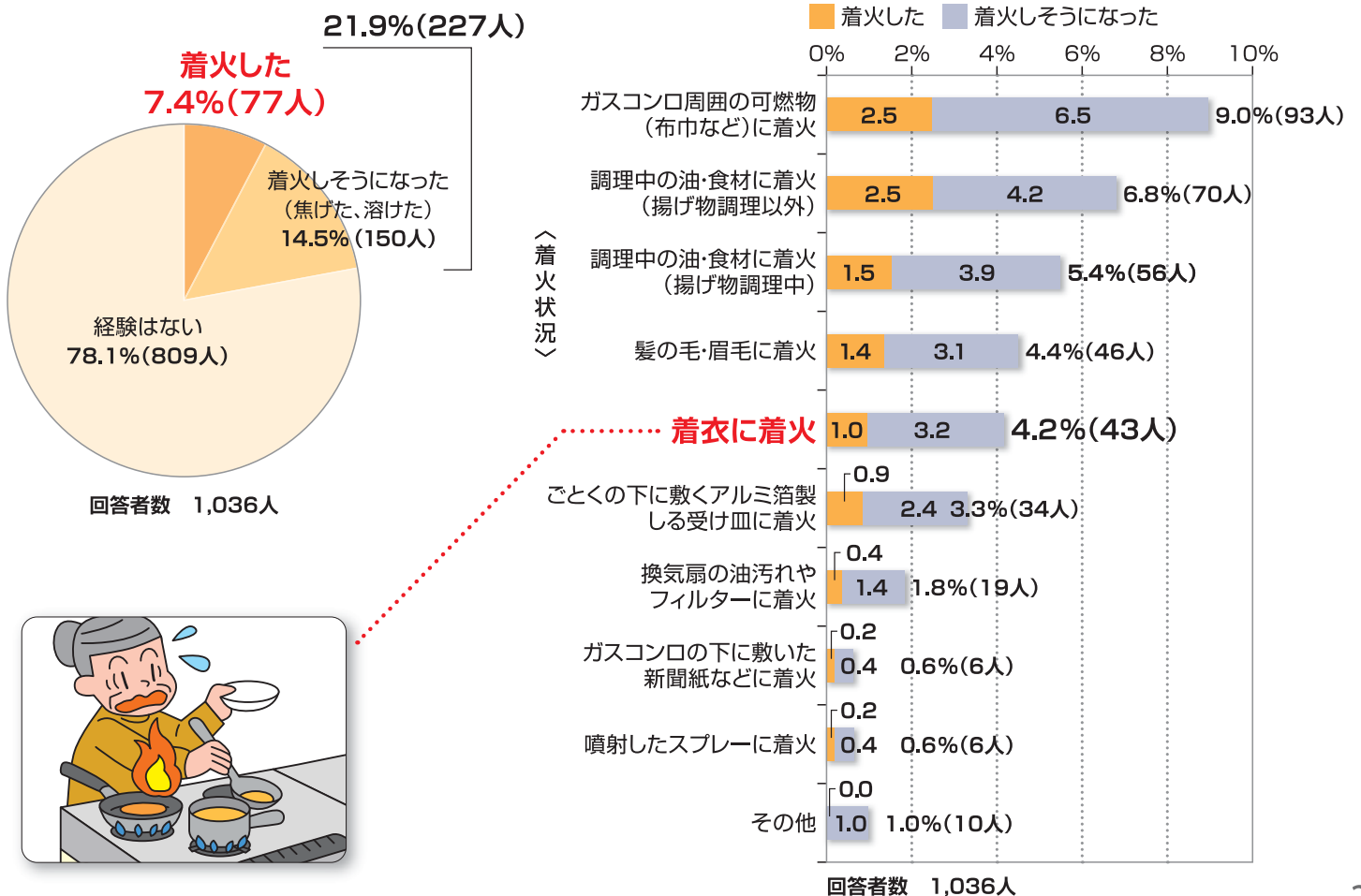
(離隔距離について「知らない」人は7割を超え、年代が下がるほど、離隔距離の認知度は低くなりました。)



※消防関係法令では、火災予防上安全な距離として、ガスコンロから可燃物までの距離を15cm以上(上方は100cm以上)離すこと等が定められています。

③ 着衣に着火した経験のある人は？

ガスコンロ使用中に、周囲の物や衣服に「着火した」または「着火しそうになった(焦げた、溶けた)」危害経験のある人は2割を超えました。中でも、「ガスコンロ周囲の可燃物に着火」が9.0%と最も多く、「着衣に着火」の危害経験のある人も4.2%いました。

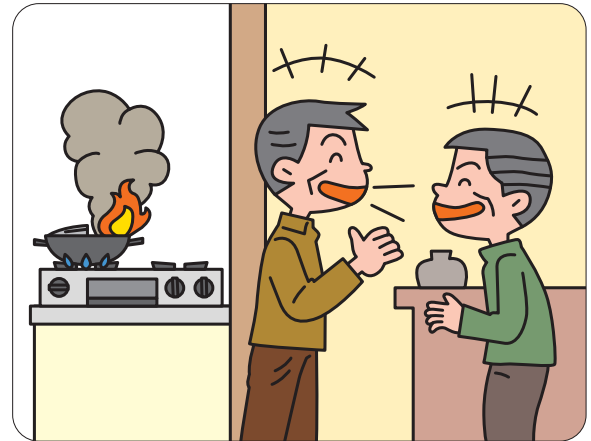


火をつけたまま離れた!



鍋に火をかけたままで外出。あわてて帰ったが鍋が真っ黒に。

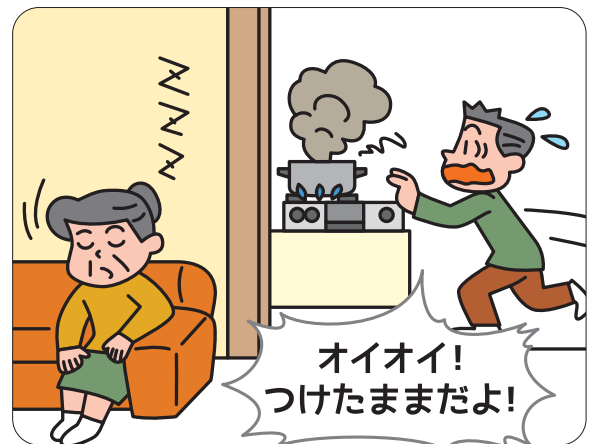
(女性40歳代)



揚げ物をしていて突然の来客に対応して火を消し忘れ、鍋の油に火がついた。(男性60歳代)



カレー鍋をかけたまま仕事に出かけ、半分焦げたところに娘が帰ってきた。(女性70歳代)



調理中にうたたねをしていて鍋をこがし、家族が気づいて火を消した。(女性60歳代)

事故防止のポイント

調理中はコンロのそばから離れない!

コンロ使用中は絶対にその場を離れないこと。離れる時は必ず火を消してください。

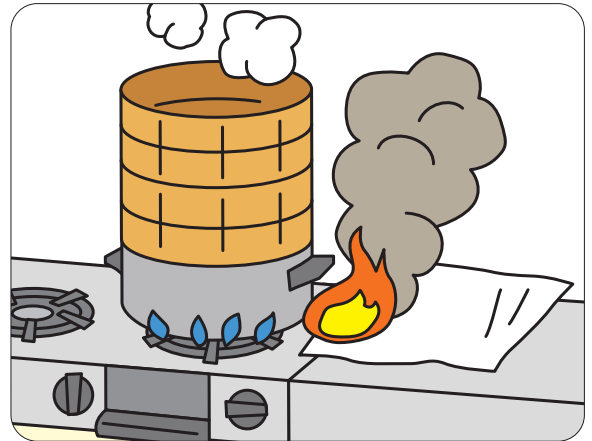


過熱したてんぷら油に火がついた実験映像

周囲の可燃物に着火した!



コンロのそばに布巾を置き、焦げ臭いにおいで気づいて、火を消した。(女性50歳代)



蒸し器の蓋に使った布巾を鍋のそばに置いたために着火。(男性70歳代)



鍋底から炎がはみだしてミトンが焦げてしまった。(女性40歳代)

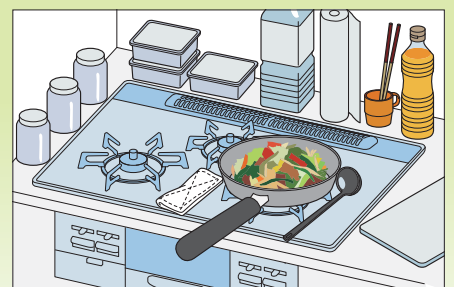


コンロの近くをキッチンペーパーで掃除して火がついたが、水をかけて消火した。(男性40歳代)

事故防止のポイント

コンロのまわりはいつもきれいに!

コンロの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。ふきん、調理用油、プラスチック製の容器などをコンロの回りに置くと、着火して火災が発生し、重大な事故につながる恐れがあります。



周辺に可燃物が置かれた危険な例

着衣等に着火した!



コンロの向こう側にある調理器具をとろうとして、服に着火しそうになった。(女性20歳代)



コンロを使用中、コンロに背を向けていたら衣服に着火し、やけどを負った。(男性50歳代)



奥のコンロの、鍋の料理の味見をしようとして袖に火がついた。(女性70歳代)



揚げ物をしていてコンロに近づきすぎて、化学繊維の服を焦がしたことがある。(女性60歳代)

見えない炎に注意!

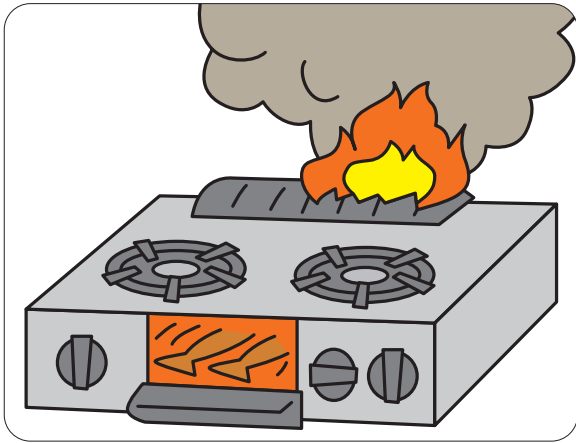
強火でガスコンロを使用している時は、鍋の上部でも繊維などに火がつくことがあります。炎が見えなくても注意しましょう。防災加工されたアームカバーやエプロン等を使用すれば、燃え広がるのを防ぐことができます。



見えない炎で着火した実験映像

事故防止の
ポイント

こんなことでもヒヤリ!



グリルでさんまを2度焼いた時に
奥の排気口から炎が出た。

(女性60歳代)



揚げ物の最中に目を離したら炎
があがってしまい、天井部分が焦
げてしまった。(女性30歳代)



鍋に布製の鍋敷きがかっついて
いたことに気づかず、コンロにか
けてしまった。(女性30歳代)



ざるをコンロの上ののせて、誤っ
て点火してしまい燃えた。

(男性40歳代)

グリルもこまめに掃除!

グリルは使うたびにきれいにしましょう。特に脂が多い肉や魚を焼いた後は掃除をしてください。庫内に残った脂や汚れがたまり、その汚れに火がついて火災事故が発生する恐れがあります。



ガスコンロのお手入れ動画(JGKAホームページ)

事故防止の
ポイント

ガスコンロの使い方チェックリスト

あなたはこんな使い方、 していませんか？

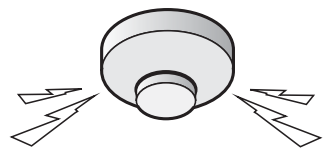
- コンロ使用中にコンロのそばを離れることがよくある
- コンロのまわりにいろいろな物を置いている
- ゆったりとした服を着て調理したことがある
- グリルの中はあまり掃除しない

ショートコント(動画)で見る
「ガスコンロの間違った使い方」



もしもの時に備えて住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器は火災を早期に発見するために設置が義務付けられています。
設置する部屋や種類などに関しては最寄りの消防署へお問い合わせください。



資料協力 /  東京都生活文化局
BUREAU OF CITIZENS AND CULTURAL AFFAIRS

 東京くらしWEB 
くらしに関わる東京都の情報サイトはこちら→



製作 /  一般社団法人
日本ガス石油機器工業会

詳しくはホームページをチェック!

JGKA

検索

クリック

